

出前講座 「北上川の洪水と土砂災害」

- 開催日時：平成27年8月5日（水）18時30分から20時00分
- 開催場所：花巻市文化会館大ホール
- 参加者：花巻市自主防災組織の代表者等 105名
- 講師：岩手河川国道事務所 調査第一課長 山影修司

国土交通省岩手河川国道事務所では、随時出前講座を開催しております。

平成27年8月5日（水）、「花巻市文化会館大ホール」において開催し、花巻市の自主防災組織の代表者等105名が参加されました。

この出前講座は、花巻市総合政策部防災危機管理課が行っている「花巻市自主防災組織等リーダー研修会」の一環として開催され、当事務所調査第一課の山影課長が「北上川の洪水と土砂災害」と題して講演しました。

まず最初に、北上川の洪水に関する内容として、近年の降雨、気候変動の傾向や、岩手県内を襲った平成25年8月洪水の概要を説明するとともに、洪水時の避難行動にあたっての目安となる「はん濫危険水位」などの水位の設定の考え方や、花巻市における基準観測所の水位の設定状況を説明しました。併せて、岩手河川国道事務所が情報発信している河川の防災情報や浸水想定区域図、洪水はん濫シミュレーション等について、当事務所ホームページの掲載状況等を用いて紹介しました。

次に土砂災害について、平成26年8月豪雨で土石流の被害を受けた広島市の土砂災害などを紹介し、土砂災害警戒情報の基準等を説明しました。また、花巻市防災マップを基に、土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域の事例を紹介するとともに、平成26年に改正された「土砂災害防止法」について、改正のポイントを説明しました。

今回の出前講座を通して、地域における自主防災活動の活発化と地域の防災力向上の一助となれば幸いです。



調査第一課 山影課長による講演



会場の状況